

二俣の商店主 活性化奮闘

天竜区 学生と協力 案内板刷新

浜松市天竜区二俣町の商店主らでつくるクロバー通り商店会(渥美芳弘会長)が衰退する商店街を盛り上げようと奮闘している。29日、大学生の協力でデザイン刷新した街の案内看板を設置。11月24日にはキツネの嫁入り道中を初開催する。

看板は横3.5メートル、縦1.5メートル。デザイン更新は9年ぶり。地図は約700坪ある同町のクロバー通り商店街を中心に据え、街の飲食・小売店のほか、周辺の鉄道駅、公共施設、数多くある名所旧跡をちりばめた。イラストは静岡文化芸術大学デザイン学科4年の水野早紀さん(22)が手書きした絵をデータ化し、コンピュータソフトで加工して仕上げた。街で遊ぶ子供や近く

「キツネの嫁入り」も開催

ネのお面を付けて歩行者天国にする通りを練り歩く。お面は地元

の天竜高生が協力して(天竜支局・松本直樹) 渥美会長は「観光客が街に興味を持って楽しんでほしい。両方もそのための取り組み」と話した。



刷新した案内看板を眺める渥美会長とデザインを手掛けた水野さん(右)
 浜松市天竜区二俣町のクロバー通り南入口